

CASBEEさいたま2016年版
関東支社 岩槻社屋

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境					0.40			3.2
1 音環境				3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0		
1.2 遮音				3.0	0.40			
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0		
2 温熱環境				3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50			
1 室温				3.0	0.38	3.0		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38			
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0		
3 光・視環境				3.4	0.25			3.4
3.1 昼光利用				2.4	0.30			
1 昼光率				2.0	0.60	3.0		
2 方位別開口					-	3.0		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0		
3.2 グレア対策				3.0	0.30			
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0		
3.3 照度		タスク照度500lx以上となるように照明を配置している		4.0	0.15	3.0		
3.4 照明制御		作業単位毎に照明制御可能とし、入退室システムと連動し制御可能		5.0	0.25	3.0		
4 空気環境				3.6	0.25			3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50			
1 化学汚染物質		建材は全てF☆☆☆☆を採用している		4.0	1.00	3.0		
4.2 換気				3.3	0.30			
1 換気量				3.0	0.33	3.0		
2 自然換気性能		窓開閉可能な居室は、1/20以上の開口部を確保する計画としている		4.0	0.33	3.0		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0		
4.3 運用管理				3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50			
2 喫煙の制御				3.0	0.50			
Q2 サービス性能					0.30			3.4
1 機能性				3.2	0.40			3.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40			
1 広さ・収納性				3.0	0.33	3.0		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	3.0		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30			
1 広さ感・景観		事務室の天井高さは全て2.7mにて計画している		4.0	0.33	3.0		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33			
3 内装計画				3.0	0.33			
1.3 維持管理				3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		13項目中8項目について採用している		4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				3.4	0.30			3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		重要度係数Ⅱ類をし1.25倍での耐震基準を満足する計画としている		4.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		全ての管種でC以上を採用		4.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
2.4 信頼性				3.0	0.20			
1 空調・換気設備				3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3 電気設備				3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5 通信・情報設備				3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	最小階高4.02mにて計画をしている	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.12にて計画をしている	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	シャフトは十分な広さを確保しバックアップスペースを確保している	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.69	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.66	4.4	0.50	-	-	4.4
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率76%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	4ホイト確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	